

HSV Adjust Ino

色相(H)、彩度(S)、明度(V)、に **scale** をかけ、次に、**shift** をします。

--- 入力 ---

Source

処理をする画像を接続します。

Reference

Pixel 毎に効果の強弱をつけるための参照画像を接続します。

--- 設定 ---

Pivot

Scale をかける時の中心値を指定します。

Hue

色相(hue)について **Scale** の中心値を指定します。

最小は0.0、最大は360.0です。

初期値は0.0です。

Saturation

彩度(saturation)について **Scale** の中心値を指定します。

最小は0.0、最大は1.0です。

初期値は0.0です。

Value

明度(brightness Value)について **Scale** の中心値を指定します。

最小は0.0、最大は1.0です。

初期値は0.0です。

Scale

Pivot 値を中心として **Scale** をかけて **HSV** の範囲を拡大あるいは縮小します。

Hue 値は円の上を回るように再帰しますが、

Saturation, Value 値はゼロ以上はゼロ、1以上は1で固定します。

Hue

色相(hue)について **Scale** をかけます。

最小は0.0です。

初期値は1.0です。

Saturation

彩度(saturation)について **Scale** をかけます。

最小は0.0です。

初期値は1.0です。

Value

明度(brightness Value)について **Scale** をかけます。

最小は0.0です。
初期値は1.0です。

Shift

Shift して HSV の値をずらします。
Hue 値は円の上を回るように再帰しますが、
Saturation, Value 値はゼロ以上はゼロ、1以上は1で固定します。

Hue

色相(hue)について Shift します。
初期値は0.0です。

Saturation

彩度(saturation)について Shift します。
初期値は0.0です。

Value

明度(brightness Value)について Shift します。
初期値は0.0です。

Premultiplied

ON なら、RGB に対して Premultiply 済の
(Alpha チャンネルの値があらかじめ RGB チャンネルに乗算されている)
画像として処理します。
初期値は ON です。

Reference

Pixel 毎に効果の強弱をつけるための参照画像の値の取り方を選択します。
入力の"Reference"に画像を接続し、
Red/Green/Blue/Alpha/Luminance/Nothing から選びます。
この効果をつけたくないときは Nothing を選ぶか、接続を切ります。
初期値は Red です。